



平成29年度

# 特別支援教育指導法 (ICT活用) 研修講座

●平成29年8月18日(金)

タブレットPCや電子黒板といったICTを活用した教育環境の充実は、特別支援学校に通う障害のある子供の学びの質を大きく変えつつあります。本研修講座は、特別支援学校の先生方のICTを活用した指導力向上を目指して行われました。

はじめに、国立特別支援教育総合研究所の棟方哲弥上席総括研究員から、「茨城のICT整備状況は高いとはいえないが、活用に関しては進んでいる」と全国調査から分析したお話がありました。大切なのは、一人一人の子供の困難に応じた代替手段として活用することや、「ICTも活用する」という意識で、多くの教育手段の一つとして捉えて欲しいと強調されました。

午後は、お二人の特別支援学校の先生の実践発表、「特別支援学校においてICTを活用した授業づくりを推進していくために」の研究協議を行いました。環境整備の遅れや先生方の苦手意識などに悩む担当者も多く、ICT活用が進んでいる学校の情報に熱心に耳を傾けていました。

受講者からは、「ICT環境は、急速に変化している。しっかり対応できるよう、今日の研修で得たことを職場に還元し、児童生徒の指導に役立てていきたい」との感想が聞かれました。